

本報告書で紹介している令和5年度の活動

本報告書で紹介している令和5年度の活動及び場所を、分かりやすくまとめています。

1 本社

2 東北震災復興支援本部

3 東日本都市再生本部

4 東日本賃貸住宅本部

5 中部支社

6 西日本支社

7 九州支社

既存間取りを有効活用したリノベーション
住戸の供給→P20

ケヤキの伐採材を活用したベンチ→P32

環境をテーマにしたイベントの開催→P46

密集市街地における取得地を活用した
地域コミュニティの醸成→P31

調光制御による持続可能な
光環境づくりと省エネ効率
の向上→P36

防災機能の強化や防災意識
向上の取組み→P37

防災専門家による
セミナー→P38

地域防災力向上に向け
た公園の改修工事→P39

総合改修工事実施による団地価値向上→P24

団地内芝生広場における新たな維持管理手法
の試行実施→P41

国際ランドスケープアーキテクト連盟アジア
太平洋地域会議2023における港北ニュータ
ウンの現地視察→P48

世界初の郊外住宅地における空中配送ロボッ
ト自動配送システムの実証実験→P50

UR職員有志による地域向けイベント・清掃
活動の実施→P51

グラングリーン大阪における環境配
慮の取組み→P30

密集市街地における取得地を活用し
た地域コミュニティの醸成→P31

団地からでる廃材を活用した社会学
習→P47

ふくしまゼロカーボン宣言への参加→P17

KUMA・PRE お花プロジェクト→P49

サービスフィールド付住宅→P23

EV（電気自動車）充電設備のコインパーキング
への導入→P44

リサイクルを通じたコミュニケーションの醸成
→P46

愛宕山の自然環境と一体となった市街地の形成
→P25

環境課題の解決・緩和に資する事業の資金調達
手法を活用した事業展開→P27

江戸時代からの緑と地形を保全したまちづくり
→P29

赤羽台まちとくらしのミュージアムでの東日本
大震災からの復興を語り継ぐ桜の植樹→P32

多摩平の森における自然共生サイトの認定取得
→P33

団地環境整備事業におけるビオトープの改修
→P33

防災性向上と駅前らしいにぎわいをかなえるま
ちづくり→P36

ぼうさい夏市で多彩な防災体験→P38

景観や環境等に関連する主な受賞内容を地区ご
とにご紹介→P40

シェアサイクルポートの設置→P43

団地内にEV（電気自動車）充電設備の利用ス
ペースの設置→P44

ごみとリサイクルを考える参加型イベント「団
地DE古着回収」→P45

利便性や住環境の向上と環境負荷低減→P43

「だれでもかんたんSDGs ちいさくたってリサイクル」エコキャップ回収活動→P51

インドネシア ジャカルタ首都圏におけるTODプロジェクトの推進→P49

本報告書で取り上げている事例のうち、該当する取組みに以下のマークを付けています。

緩和策 →

緩和策

適応策 →

適応策

令和5年度から新たに始めた取組み →

NEW

緩和策・適応策

気候変動は世界的に様々な影響を引き起こしており、毎年大規模な気象災害が頻発するとともに、気温上昇による熱中症の増加等、多くの悪影響が報告されています。気候変動には、緩和策と適応策の両面から対応を進めていくことが必要となっており、URにおいても様々な対応を実施しています。